

事務事業名 **さんぶの森公園管理事業**

政策:05 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり

施策:02 生涯学習の推進

部名:教育部

基本事業:02 生涯学習施設の充実

課名:さんぶの森公園管理事務所

計画年度	年度 ~ 年度	事業区分	継続	会計区分	普通会計	
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民 さんぶの森公園		（施設の概要） ・公園面積 124,514㎡ テントデッキ 8箇所 ・バーベキューピット 8ピット 炊事棟 2棟 ・あずまや 1棟 便所 3棟 （手段） 設備の保守点検及び施設、備品等の修繕を実施し、公園の継続的かつ安全な維持管理を図りました。 （管理内容） 非常勤職員による日常管理 警備委託 24時間 浄化槽清掃 隔年 遊具保守管理 年1回				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
公園施設の整備により不具合が解消され、公園施設を快適に安全に利用してもらおう。 利用者の満足度の向上 利用者数の増加						
4 活動指標・成果指標・事業費の推移						
区分	指標名称	単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値
活動指標	公園（施設を含む）の修繕件数	件	0	7	5	5
活動指標						
成果指標	公園の事故発生件数	件	0	2	0	0
成果指標						
事業費		千円	34,211	34,194	37,512	
		うち一般財源	千円	32,274	27,766	32,625
5 目的妥当性						
法定受託事業である（根拠法令） 妥当である 妥当性が低い		さんぶの森公園は、市民が自然にふれあえる施設です。				
6 上位の基本事業への貢献度						
貢献度大きい（理由） 貢献度ふつう（理由） 貢献度小さい（理由） 基礎的事務事業		生涯学習施設の充実を図り、市民が安心して利用できるように維持管理をしています。				
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討						
対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる 対象や意図の見直しはできない その他		特定の施設の事業であり、対象、意図の見直しはできません。				
8 有効性（成果状況）						
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない		市民が安心して利用できるように、良好な維持管理に努めています。平成21年度の施設事故は2件です（施設瑕疵によるものではありません）。				
9 有効性（成果向上余地）						
成果向上余地・大 成果向上余地・中 成果向上余地・小・無し						
10 事業の再編成						
類似の事業があり、再編成できる 類似の事業はあるが、再編成できない 類似の事業はない		蓮沼海浜公園、成東運動公園等類似の事業はあるが、特定施設の管理事業です。				
11 効率性（コスト削減の方法）						
ある ない		さんぶの森公園内に図書館・文化ホールがあり、駐車場の有料化を検討したが難しい状況です。24時間どこからでも出入りができ、施設整備に高額な整備費が必要となります。非常勤職員が他の施設管理を一括して行っているため、現在は有効的に機能しています。				